

業務部速報

発信者》JREU
仙台地本業務部 / 湯ノ目
〒983-0852
仙台市宮城野区榴岡1-4-3
TEL 022-297-0155
FAX 022-291-3070
JR 031-3981~3
FAX 031-3980
2021年 11月 15日

「車両センター業務委託の拡大について」に関する申し入れ 団体交渉

2021年11月15日に申6号団交を行いました。不明な点等ございましたら、地本業務部に連絡を下さい。

(1項)今施策の目的・メリット、時期の理由を明らかにすること。

(回答)「変革2027」の実現に向けて、仕事の高度化や活躍フィールドの拡大と共に、グループ会社との役割分担の見直しにより水平分業を実効化し、グループ会社と一体となった業務体制を構築するためである。

【主な議論】

・エルダー雇用の場の確保、変革2027のスピードアップを受けて、成案となったため、提案している。

(2項)今施策の実施スケジュール、教育方法などについて明らかにすること。また、今施策に関する技術力の確保に関する考え方を明らかにすること。

(回答)業務に必要な教育は実施していく考えである。

【主な議論】

・郡山総合車両センターに全・要検の際に石巻線(DL・EL回送)経由で入場しており、JR本体としても技術は保持していく。

・12月1日時点で、受託会社で実施できるように教育・スケジュールを組んでいる。

・当然ながら、偽装請負対策として、監督員(仙台車両センター本体)、作業責任者(宮城野の受託会社)は配置となる。この間の委託同様、現場での情報共有は出来る。(この間、仕業検査、臨修、入換業務も宮城野派出で委託していた。)

(3項) 出向・転出等については、本人希望を最大限尊重し丁寧な面談等を行い実施すること。また、関係する社員のモチベーションを高めるための取り組みを行うこと。

(回答)社員の運用については、任用の基準に則り取り扱うこととなる。

【主な議論】・設備改修はされている。変わらず業務を行う事がモチベーションにつながっていると認識している。

(4項) 新系列導入予定について、明らかにすること。また、新系列車両導入時は、労使議論を行なうこと。

(回答)車両の更新については、当社を取り巻く環境の変化やお客さまのご利用状況等を総合的に勘案し、決定するものである。

【主な議論】

・新系列車両は、新車とVVVF改造車両。新型車両導入の際は、必要な労使議論を行う事を確認しました。

(5項)今施策に関連する施策実施後、問題のある場合は是正・見直し等を行うこと。

(回答)具体的な提起があれば、「労使間の取扱いに関する協定(令和3年10月1日締結)」に則り、取り扱うこととなる。

…職場検証で必要な議論を行うことを改めて求めました。

以上